

## 平成25年第6回白石町議会定例会会議録

会議月日 平成25年9月25日（第9日目）  
場 所 白石町役場議場  
開 会 午前9時30分

1. 出席議員は次のとおりである。

1番	川崎一平	10番	秀島和善
2番	前田弘次郎	11番	井崎好信
3番	溝口誠	12番	大串弘昭
4番	大串武次	13番	内野さよ子
5番	吉岡英允	14番	西山清則
6番	片渕彰	15番	岩永英毅
7番	草場祥則	16番	溝上良夫
9番	久原久男	17番	久原房義
		18番	白武悟

2. 欠席議員は次のとおりである。

8番 片渕栄二郎

3. 地方自治法第121条の規定により説明のため出席した者は次のとおりである。

町長	田島健一	副町長	杉原忍
総務課長	百武和義	財政課長	片渕克也
産業課長	赤坂隆義	農政専門監	松尾裕哉
農村整備課長	嶋江政喜	農村整備専門監	大串靖弘
水道課長	荒木安雄	下水道課長	赤坂和俊
下水管理専門監	川崎了	土木管理課長	小川豊年
建設課長	岩永康博	農業委員会事務局長	大串玲子
代表監査委員	吉村秋馬		

4. 議会事務のため出席した事務局職員は次のとおりである。

議会事務局長	鶴崎俊昭
議事係長	吉岡正博
議事係書記	片渕英昭

5. 会議録署名議員の指名 会議録署名議員に次の2人を指名した。

11番 井崎好信                      12番 大串弘昭

6. 本日の議事日程は次のとおりである。

日程第1 会議録署名議員の指名

日程第2 議案質疑

(産業建設部門)

議案第48号 平成24年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について

議案第51号 平成24年度白石町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第52号 平成24年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計歳入歳出決算の認定について

議案第53号 平成24年度白石町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

議案第62号 白石町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について

議案第63号 白石町特定環境保全公共下水道条例の一部を改正する条例について

議案第64号 白石町特定環境保全公共下水道事業受益者負担金徴収条例の一部を改正する条例について

議案第65号 平成25年度白石町一般会計補正予算(第3号)

議案第68号 平成25年度白石町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)

議案第69号 平成25年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第2号)

議案第70号 平成25年度白石町水道事業会計補正予算(第2号)

議案第71号 平成25年度白石町特定環境保全公共下水道白石1号線管渠布設工事(11工区)請負契約について

---

9時30分 開議

○白武 悟議長

おはようございます。

これより本日の会議を開きます。

申し上げます。片渕栄二郎議員から本日の会議に欠席の申し出がっておりますので、報告をいたします。

日程第1

○白武 悟議長

日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議規則第112条の規定により、本日の会議録署名議員として、井崎好信議員、大串弘昭議員の両名を指名いたします。

## 日程第2

### ○白武 悟議長

日程第2、議案第48号「平成24年度白石町一般会計歳入歳出決算の認定について」の産業建設分を議題とします。

これより質疑に入ります。

なお、質疑の際は、決算書の何ページ、決算説明報告書の何ページとはっきりお示しください。

まず初めに、1ページから41ページまでの産業建設部門について質疑ありませんか。

### ○西山清則議員

決算書の14ページですけれども、農林水産使用料ですけれども、愛菜農園使用料が入っていますけれども、現在何名の方が利用されて、それでどういった方、全て町内の方か、伺いたいと思います。

### ○赤坂隆義産業課長

決算書の14ページですけど、愛菜農園のことでお尋ねですけど、愛菜農園につきましては自然との触れ合い、また農業への理解ということで有明町、ふれあいスカイパークの横っちょのほうに設置していますけど、今現在42区画で22名の方が作付を行っておられます。

県内県外については、町内と町外の方もおられますけど、後もって報告したいと思います。内訳については後もって報告します。

### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

### ○秀島和善議員

一般会計の決算書のページ数で言いますと、まず第1点に23ページになります。23ページの2節農業振興費補助金の備考欄に掲載されておりますけれども、戸別所得補償制度推進事業補助金が900万7万3,000円です。もう一点、戸別所得補償経営安定推進事業交付金が89万円ということでありましてけれども、このお尋ねしたい点はこの補償が政権が交代しました。そのことによってどのように変わったのか、また農業者にとってこの推進事業の交付金がプラスになっているのかマイナスになっているのか、お尋ねしたいと思います。

2点目です。ページ数、次の24ページ、6節の林業費補助金の備考欄に重要森林公的管理支援事業補助金として600万円掲載されております。この重要森林公的管理支援事業といいますものはどういう活動なのか。国有林の事業に適されているのか、町有林の事業に適されているのか、その辺の観点をお願いしたいと思います。

3点目です。ページ数、26ページ、4節統計調査費委託金の経済センサス交付金19万5,000円の説明をお願いしたいと思います。

### ○白武 悟議長

これは総務でございますので。

### ○秀島和善議員

そうですか。失礼しました。

ページ数、38ページです。12節の農村整備、雑入です。備考欄のところを見てください。森林整備担い手育成基金事業助成金として8万4,984円と書いてあります。この担い手が何名いるのか、どういう組織活動をやっているのかということが第1点と、次の武雄杵島森林組合事業利用分量配当金ということで、この活動の内容について紹介してください。

以上です。

### ○松尾裕哉農政専門監

私のほうから、戸別所得補償制度推進事業費補助金、それから戸別所得補償制度経営安定推進事業費補助金の御質問について答弁をさせていただきます。

まず、戸別所得補償制度推進事業費補助金につきましては、決算説明報告書の中の44ページを見ていただきたいと思いますが、決算報告書の44ページに農業者戸別所得補償制度推進事業費補助金ということで、ここは歳出の部分になっておりますが、いわゆる転作関係の確認事務に伴う国からの補助金でございます。これにつきましては例年毎年確認事務につきましてはあっておりますので、補助金の名称がその時々によっては変わりますが、内容につきましては転作確認事務についてが主な事業でございます。

それから、次の戸別所得補償経営安定推進事業補助金、これは報告書の中の40ページでございます。89万円ということで、この戸別所得補償制度経営安定推進事業につきましては24年度の新規事業ということで人・農地プラン関係の策定事業、それから農地集積協力金関係の補助金関係の事業、これを合計しまして本町89万円という補助金をもらっております。この新規事業につきましては、それぞれ今までの政権といいますか、民主党の時代の事業でございますが、新たにつくられた事業ということでこの経営、農地集積協力金あたりの交付も白石町のほうで1名あっておりますので、この事業につきましては新たな事業ということで本町としても取り組みをさせていただきました。一応この事業につきましては先ほど2点申し上げましたが、前者につきましては今までどおりの補助金の内容、それから後者につきましては新たに24年度に創設された事業ということで内容はなっております。

以上でございます。

### ○嶋江政喜農村整備課長

決算書の24ページの林業費補助金の中の重要森林公的管理支援事業費補助金600万円の件ですけど、これについては森林環境税を財源とした事業でございます。市町がみずから実施する荒廃林の再生を行う重要森林公的管理支援事業ということが創設されまして、実施は町有林、辺田地区内の町有林をこの事業で実施したということで

ございます。内容につきましては下刈り、除伐、それから侵入竹の荒廃の整理伐と、あと植栽と、それと上黒木地区の町有林の風倒木の整備等を行っています。あくまでこれは町有林の整備をやったということです。

それと、38ページの森林整備担い手育成基金事業助成金ということでございますけど、この森林整備担い手育成については森林組合が実施する社会保険制度適用促進事業とか退職金の共済適用促進事業に対して助成をするものでありまして、林業家の方の担い手のどうのこうのの補助金ではございません。あくまで森林組合にそういう事業に対して助成をするということでございます。

それと、武雄杵島森林組合事業利活用料配当金ですけど、これにつきましては武雄森林組合に決算上、その余剰金が出たということでございまして、その市町も一応出資をしておりますので、その分の配当金ということでお考えいただいて結構です。

### ○秀島和善議員

ページ数、先ほどお尋ねしたところの23ページの戸別所得補償経営安定推進事業交付金について重ねてもう一点だけ担当専門監にお尋ねします。

説明資料の40ページになりますね。戸別所得補償経営安定推進事業費ということでお尋ねしたい点は、説明資料の2に事業の実績ということで中心経営体数で124とあります。個人47、法人7、集落営農組織が70ということで、法人が7となっておりますけれども、法人化に向けてどういう取り組みをなされて7に至ったのかと。今後の見通しについてもお尋ねしたいと思います。

### ○白武 悟議長

これは再質のところをお願いしたいと思います。（「はい、わかりました」と呼ぶ者あり）

ほかに質疑ありませんか。

### ○赤坂隆義産業課長

先ほど西山議員さんのときに愛菜農園の22名の内訳ということでお尋ねがありましたが、町内の方が19名、町外の方が3名利用なされております。

以上です。

### ○西山清則議員

ちょっとこれ22名でもう満杯ですかね。全部もうあとは残ってないですかね。

### ○赤坂隆義産業課長

42区画ありまして、今現在41区画利用されております。

### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

次に、歳出に入ります。

52ページから54ページまでの産業建設分及び89ページから94ページまでの分で質疑ありませんか。

#### ○久原房義議員

94ページ、説明資料で言いましょか。説明資料は47ページ、新規就農総合支援事業ということで青年層の方を新規就農をしていただくということで昨年度から打ち出された新しい政策でございますけども非常に結構な事業だというふうには思っておりますが、私自身も、欠席ですけども片渕副議長のほうも指導農業主ということで仰せつかっておるわけで、特に若い青年層の方々の相談なり指導に当たっておるわけですが、そういった中でこういう制度があるのを知らないという方が非常に多いわけですね。もちろん知っている方もいらっしゃるんですけども、そういうことで本当に末端までこういった非常にいい事業なのでそういった周知が本当に図られているのかなということをおもうわけですけども、もっともっとこういった事業を利用しながら末端まで親御さんも含めてもっともっと啓発活動と申しましょか、そういったものに取り組んでいただいたほうがいいのではないかなというふうに思いますけども、そこら辺についてのお考えをお尋ねしたいと思います。

#### ○松尾裕哉農政専門監

青年就農給付金の事業につきましては昨年度から実施をされまして、当初5月の末日ぐらいだと思いますが、県内のトップを切って我々白石町につきましてはこの説明会をさせていただきました。そのとき人数大分集まっていたかまして、その後いろいろ内容等の御相談があつてお聞き取りをする中でこの対象になられる方が最終的に24年度が9名になられたということでございます。その間、私ども農業をやってみようセミナーとか、品目別研修会とかというふうなことで新規就農者対策協議会という協議会がございますので、その中で説明会等をされて説明をさせていただいたりしておりました。それで、議員御指摘のとおりなかなか末端のほうまで説明が行き届いてないというような状況でございますので、私ども広報等、また行政放送等を使って広報に努めていきたいというふうなことを考えております。それで、対策協議会という協議会がございますので、その辺の周知の方法等につきましても今後この会議の中でも検討させていただきまして、できるだけ皆さん方にこの事業の内容が周知をできるように取り組んでいきたいというふうに思っております。

以上でございます。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

#### ○井崎好信議員

96までいいですかね。

#### ○白武 悟議長

94ページまでです。

**○井崎好信議員**

4ページですね。

93ページでございます。節の8の報償費、備考で農業者年金業務受託事業年金加入推進員手当42万8,000円、そしてその下、その他報償費45万3,200円となっております。この推進手当は加入の件数においてその手当が支給されているのか。そして、またその下の報償費はその他ってどういった報償費なのか、御説明をお願いいたします。

**○大串玲子農業委員会事務局長**

御質問でございますけれども、まず農業者年金の業務受託事業年金加入推進員手当に関しましては、農業者の老後の生活安定のために農業委員さんのほうに農業者年金の加入の推進を行っているところですが、その農業委員さんの一律に加入推進手当としてお一人年間7,000円、それから実績割をお一人加入をさせていただくと5,000円、それから県のほうに推進員協議会の会議なり行っていただく加入推進部長さんへの手当がお一人年間1万2,000円、それを合計しまして42万8,000円ということでございます。

その他報償費ですが、これにつきましては農地パトロールの報償費でございます。パトロールを年2回実施をいたしております。その手当を支給をいたしているところです。

以上です。

**○井崎好信議員**

わかりました。農業者年金の今後継者等たくさん新規就農者なりふえてきている状況の中で加入の状況はどのようになっていますでしょうか。農業者年金の加入の状況。

**○大串玲子農業委員会事務局長**

毎年加入推進員につきましては県のほうから割り当てが来ております。過去ずっと今6年になりますけれども、毎年その実績は達成を白石町はいたしております。昨年は42名、3カ年間で実績があります。

以上です。

**○白武 悟議長**

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようでございますので、95ページから99ページまで質疑ありませんか。

**○内野さよ子議員**

95ページの13節委託料ですが、農業振興地域整備計画策定業務委託料というのがあります。338万円になっていますが、これにつきましては説明資料にもついて

います。この事業はおおむね10年を見通しというふうに書いてあります。この内容を見ると旧町単位に別々になされていたものを合わせて今度総合的に計画をしていくというような内容で書いてあります。本年度の事業としてもここに書いてありますし、26年度までに地図の情報、環境の設定とか、そういうGISのことなどいろいろ書いてあります。この事業はとてもいいことだと思っています。昨年については3年ぐらいかないかと思っておりましたが、24年度から26年度という計画ですが、大体農地の管理については行政がなされるものだとは思っています。けれども、最終的には例えばJAとか、それから町民の皆さんに還元されるような仕組みづくりができればいいですけどこういうふうなものは計画をされた後はどういうふうな利用の仕方、もちろん尋ねられたときにこの農地はこういう状況だとか、いろんな情報の伝達はできると思いますが、どういうふうに今まで旧町時代もこれはあったと思います、それぞれにですね。どういうふうな利用の仕方とかやっていたのか、その点についてお尋ねをします。

### ○松尾裕哉農政専門監

白石町農業振興地域整備計画策定業務委託料ということでございますが、この事業につきましては議員おっしゃいましたとおり旧町時代それぞれ計画書がございましたので、その計画書を一本化をして統一を図ろうということで、基本的にはそのことでこの事業をさせていただいております。それで今、今後10年を見通すということでここに書いてありますが、農村農業地域整備計画のガイドラインというものがございまして、この計画を作成する中では相当長期間、いわゆる今後10年間を見通した計画を作成する場合は策定をなささいということで、いろいろ8項目程度ございますけど、農用地として利用すべき土地の区域と用途区分、これはいわゆる農用地区域の地域内か地域外かということの区分けが基本的にはそういうことがわかる計画でございますが、あと農業生産の基盤の整備及び開発計画とか、農地等の保全計画とか、いろいろこの全体で7項目あります。それを計画をしていくということでございます。この農業振興地域整備計画を策定しますと、いわゆる田畑をほかのものに転用をするというような場合にそこが農業振興地域計画内か計画外かということで手続等が大分違ってまいります。そのことで、それぞれ個々の個人の方がそういう計画を持たれたときにこの計画書に基づきまして、そういう事由ができるかできないかという判断をさせていただくと。また、その後に農地転用関係の事務につきましては農業委員会のほうでしておりますので、そことの連携をとりましてその申請に基づいて適切な、いわゆるこの農業振興整備計画ということにつきましては農業の振興ということが大前提にございますので、その計画と整合性がとれるような計画があるかというような判断をこの計画書でさせていただくというふうなことでございます。

以上でございます。

### ○内野さよ子議員

白石町でも6次産業化とかいろんなことが言われている中でこういったことについては今転用ということでありました。そういうふうなことの操作とか事業が推進が早

く進められると思います。でも、最終的には行政のその補完する事業だけじゃなくて、それはあらゆる農政の中での事業の推進に役立てていけないと思います。JAとか、それから町民の皆さん方に大いに還元できるような10年の計画というふうなことです。大いに役立つような計画等をしていただきたいというふうに思っています。そのことです。

それから、もう一つお尋ねをします。

96ページになりますが、農地の集積というふうなことで19節の負担金及び補助金というふうなところで担い手の農地集積促進事業費補助金というふうなことで238万円というふうに書いてあります。この事業につきましても私が知らないだけかも知りませんが、私の地域では集落営農という形でかなり大きな300ヘクタールぐらいあると思います。そのぐらいの集積でやっていますので、余りこの姿が見えていません。実際はどういうふうにして集積事業を行われているのかということで、これにつきましても42ページの説明書に書いてあります。計画的に6年、8年、9年、10年というふうなことで書いてありますけれど、事業の推進に当たってはこれは去年の説明資料には3年計画という言葉だけしかついてなくて、いい事業だなと思っていました。ことしの計画を見ると21年度から24年度ということでもう終了になっています。今後の計画としては私は残していただきたいというふうなことで思っていますが、去年の実績を見るとかなりの実績が上がっていました。ことしは86ですが、去年はたしか200ぐらいの実績が上がっていたかなというふうな記憶があります。そういった点で3年度で終了となっていますが、見通しとしてこれぐらいでいいのかなと思われたのかどうかわかりませんが、私は継続していただきたいなというふうに思います。ということと、それから私の知らないところでいろんな集積があっっていますので、集落営農についても小さな集落とか、いろんな集落があるので、そういうふうなところの観点から見たところで説明をお願いしたいと思います。

### ○松尾裕哉農政専門監

担い手農地集積促進事業につきましては町単の事業で実施をさせていただきました。それで、この報告書にございます21年度から22年度という3年間でございますが、昨年度の実績が多かったということにつきましては同じ事業で年度が違いまして対象年度が違うということで20年度から23年度分までを恐らくその計上していた分でその数字が違って来たということに思っております。なぜ22年度で終わったかということでございますが、22年度に国の事業が創設をされたということで、平成22年10月のいわゆる要件設定等の受け付けの終了した分までをここに上げております事業の対象といたしております。ですから、一応町単事業ということでしてございまして、その後は国と国の事業がございましたので、この事業について事業を制度を変えてさせていただいたということでございます。

以上でございます。（「あわせてやり方とかそのいろんな実績があがってきていないものの説明」と呼ぶ者あり）

この事業につきましてはここに書いておりますようにそれぞれ集落が異なる営農集落の場合につきましては標準貸借料の2分の1相当額、それから集積が同一集落の場

合は標準賃借料の4分の1ということで6年以上の賃借権を設定をしていただいた分を計上をいたしております。21年度につきましては130人、22年度につきましては199人ということでございます。

それから、失礼しました、それから既存経営水田と合わせて1カ所以上の連担団地となるような面的集約を行ったものということでそれを対象にいたしております。

以上でございます。

**○白武 悟議長**

ほかに質疑ありませんか。

**○久原房義議員**

96、よかですかね。

**○白武 悟議長**

96、よかです。

**○久原房義議員**

それじゃ、説明資料でお願いしますけども、46ページ、強い農業づくり交付金の事業で産地競争力強化事業、これはいわゆる本町の特産でございますタマネギのいわゆる予措保管施設の整備に要した事業費でございますけども、これは非常に取り組みとしては非常に結構なことだというふうに思っておりますけども、最近いろいろ話を聞きます中でこの施設にいわゆる貯蔵用として保管を委託を農家が委託をされてそこで貯蔵されるわけですけども、結果が非常に良かったという方もいらっしゃいますし、いやちょっと預けたけども非常に腐れが多かったとかという話もよく聞くわけですね。本来ならこういった立派な施設でございますから傷みもなくて立派なタマネギで最終的には出荷ができたということになってほしいわけですけども、どうもこの貯蔵中に腐敗とか、あるいは二級品の発生とかというのが中にはあるそうでございます。やっぱり施設が悪いのか、あるいはそのタマネギのできが収穫して収穫の時期とかなんとかの病害虫であるとか、そういったタマネギ自体のできが悪かったのかどうか、その辺がはっきりしませんけども、その辺の追跡調査あたりはされたことはございますか。せっかく立派な施設をつくって取り組んでいただいておりますから非常に産地を発展させる意味では非常にこれ結構なことだとは思いますが、中には非常に腐敗が多かったという話もよく聞きますので、全員の方が本当に喜んでいただけるような施設でなくちゃいかんわけですけども、そういったところの追跡調査あたりはどうでしょう。

**○赤坂隆義産業課長**

このタマネギの予措施設につきましては労働力の低減とかいろいろありますけど、この後追い調査についてはいたしておりますませんが、原因として考えられるのはやっぱり議員言われるとお入り根のときにも病害虫が発生していたのか、また乾燥が十分だ

ったのか、また施肥の状況は適当だったのか、そのいろいろ問題があろうと思いますけど、今後農協さんとも一応結果等を踏まえて検討をいたしたいというふうに思っております。

**○白武 悟議長**

ほかに質疑ありませんか。

**○大串武次議員**

95ページの需用費のスッポン購入費で147万円あるわけでございますけど、多分これジャンボタニシ対策だと思えますが、これは年次計画ですっと放流をされているのか、要望があったところにされているのか、今年度の実績と今後の計画についてお尋ねします。

**○松尾裕哉農政専門監**

スッポン購入費関係でございますが、報告書の中の48ページにスクミリングガイ駆除対策事業ということで実施をさせていただきました。このスッポンの駆除事業につきましては合併後平成17年度から18年度にかけてそこに書いてありますとおり実施をいたしまして、スッポン等の捕獲等もあっているというようなことのいろいろな話の中から平成24年度について新たにふるさと寄附金等を充当させていただきました行った事業でございます。この事業につきましては37の地域から一応町内でそれで集落営農組合とか農地・水の組合等々に要望調査を出しまして、そこから要望が上がってきたところが37の組織がございました。そこに1,000匹のスッポンをそれぞれ農地面積等に合わせて割り振りをさせていただいております。それで、その後を受けまして本年7月にアンケート調査を実施をさせていただきました。当初私ども24年度の単年度事業ということで計画をさせていただきましたが、そのアンケート調査の中で今言いました37団体中より全てではございませんが、約33の回答がっておりますが、いろいろジャンボタニシの生息についてはどうですかということで減ったという方が60%おられると。水稻の被害は減ったのでしょうかというようなことで約70%が減ったと。

それで、最終的な事業の効果はありました、看板を設置した効果はありましたかということで看板をそこに87カ所設置をいたしました効果があつたということで、約半分の方が効果があるということでございます。この最終的にこの事業の効果はということで、あるという方がその回答の中で90%の方があつたということの返事をいただきました。それで、一応24年度の単年度事業ということで今取り組みをさせていただいておりますが、今後あとすぐ来年度の事業でまたどう取り組むものか、二、三年後様子を見てまた取り組むのかということにつきましては今後検討させていただきたいというふうに思っております。

以上でございます。

**○白武 悟議長**

ほかに質疑ありませんか。

### ○大串弘昭議員

さっき95ページの内野議員からもちよつと質問があつとつたんですが、白石町地域振興整備計画書ですね。この件で今ちよつと答弁があつておりましたけれども、これはあくまでも農地の優良農地の保全の確保というふうなことでの農業振興地域ですね。これを作成することということでございますけども、その線引きの振興地域と振興地外、この線引きをする場合にいわゆる個人の意向というか、アンケートというか、そういうふうなものをとっておられるのかですね。振興地外にしてほしいというふうな個人の要望があればそういったものも組み入れてもらえるのか、その辺のところはどうでしょうかね。

### ○松尾裕哉農政専門監

今回の事業につきましては先ほども申し上げましたとおり旧町の計画を一本化するというのが大前提で計画をさせていただいております。それで、農用地区域に含めるか含めないかということにつきましては、今回そういう事業の趣旨でございましたので、農家の方への聞き取り調査は今回は実施をしております。それで、今言われました農用地区域に含める土地というのが既にこういうものは含めなければならないということで集团的農用地10町以上と、それから農業生産基盤整備事業の対象地と、いわゆる圃場整備とか、そういう事業の対象地と。土地改良施設用地、農業用施設用地、その他農業振興を図るために必要な土地というふうなことの内容がございますので、今回その事業に合わせてさせていただくということでございますが、何せ3町それぞれ今まで整備計画がございまして、それを抱き合わせた場合にいわゆる今の要件を外れるところがあるかもわかりません。そういうふうなことで、そういうもしこの要件に外れて最終的に県と協議をしてこの計画をつくるわけでございますが、そういう農地として外すことができる農地については農用地区域から外すことを考えておるところでございます。

以上でございます。

### ○白武 悟議長

ほかにありませんか。

### ○秀島和善議員

ページ数、95ページです。7節の賃金の鳥獣被害対策実施隊員賃金3万114円ということですけど、まず実施隊員の人数、具体的にこの成果がどのようなことが成果としてあらわれているのかということをお尋ねします。

2点目です。

ページ数、99ページ、19節負担金補助及び交付金の県営地盤沈下対策事業負担金の6,191万4,000円のところです。説明資料では55ページに該当します。地盤沈下対策事業負担金ということで6,191万4,000円ですけども、工事内容が列挙してありますけれども、それぞれの工事内容ごとの工事費額、わかりましたら説明をお願いします。

以上です。

#### ○松尾裕哉農政専門監

鳥獣被害対策実施隊員の人数でございますが、人数につきましては合計で5名を町長で任命をしております。内訳としましては猟友会関係の方が3名、それから町職員が2名ということで計5名でございます。

成果ということでございますが、平成24年度につきましては、この賃金に対象になる事業につきまして3件行っております。それで、いろいろカラス等のイノシシ等の駆除関係について要望がございますので、カラス関係の駆除、それからイノシシの出没することについての確認、それからそれに伴います全体的なパトロールということで平成24年度につきましては3回実施をさせていただいております。

以上でございます。

#### ○大串靖弘農村整備専門監

地盤沈下対策事業費の負担金でございますけれども、この分につきましては県営事業でございますが県が発注しております事業分の6%を支出しているわけでございますけれども、一つ一つの工事費を把握はこちらのほうではしておりません。まとめて請求がありますので、今わからない状況です。

以上です。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

#### ○西山清則議員

先ほど秀島議員と関連しますけれども、鳥獣被害対策の賃金ですけども、先ほど5名と言われましたけれども、稲刈りが済めばタマネギ植えつけやって、また麦まきと違ってずっとカモとかカラスとかイノシシとかずっと今からがシーズンに入ってくるわけですけども、この5名の方でもっとふやす必要があるんじゃないかなとも思います。今最近、タマネギ植えたらもう植えた次にずっとカラスが引っぺいでいくというか、ずっとぽんぽんぽんとして被害が多くなってきておりますし、またカモもノリ被害、あるいはレンコン被害にも出てくると思いますので、3回しかやってないということですけども、もっとふえる可能性があると思いますけども、5名の方で大丈夫なのか。もっと許可がとれるあれがあるのか、その辺ちょっとお聞きしたいと思いますけども。

#### ○松尾裕哉農政専門監

今回ここに上げております鳥獣被害対策実施隊につきましては、町長が任命した5名でございます。この賃金につきましては3名分をここに計上をいたしておりますが、この実施隊につきましては鳥獣による農林水産等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律ということで実施隊を設けることができるということで実施隊を設置を

させていただいております。それで、被害の対策につきましては被害対策協議会の町の協議会がございますので、その協議会から猟友会の方々に被害の駆除についてはお願いをいたしております。それぞれイノシシとかカラス、箱わなとか猟銃による駆除をお願いをいたしておりますので、この実施隊の方々3名につきましてもその猟友会の中から3名をお願いしているということで、駆除自体につきましてはもっと大きな猟友会白石支部という組織の皆様方に駆除をお願いして実施をいたしておるところでございます。

以上です。

#### ○西山清則議員

3回実施したということですが、要望はそれ以外にあったかどうかですね。実施したのが3回なのか、要望はどれくらいあったのか、お願いします。

#### ○松尾裕哉農政専門監

今、3回と申しました実施につきましては、この実施隊の方々に依頼をして実施をした回数でございます。要望等、駆除依頼等につきましては今ここで回数等は把握をいたしておりませんが、相当数の依頼があっているところでございます。

以上でございます。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

#### ○井崎好信議員

私、2点お尋ねをしたいと思います。

決算説明報告書の56ページ、筑後川下流土地改良事業推進事業費……。

#### ○白武 悟議長

56ページですか。

#### ○井崎好信議員

56ページ、説明資料です。筑後川土地改良事業推進事業費の中で嘉瀬川ダム感謝秋の収穫祭負担金が内訳として上げてございます。これは私どもも昨年は参加をさせていただきました。ダムの建設によって富士町の方々ですか、家屋が埋没してされたと非常に犠牲になられたというふうなことで、そういった意味での感謝を込めての感謝祭やったわけでございます。御存じのように本格的に今年から嘉瀬川ダムの配水がされまして地下水に頼ることなく白石平野も実りの秋を迎えておるわけでございます。そして、ことしも何か補正の中で計画されているようでございますが、もちろん向こうに行ってそういう感謝の気持ちも込めることも必要とは思いますが、私は行くばかりじゃなくてこっちお越しいただいてもいいんじゃないかなという思いもしております。そういったことで11月には秋祭り、ぺったんこ祭りがあるわけでございまして、

そういった祭りに、本町の祭りにも行くのももちろん結構でございますが、こっちにお呼びしても結構じゃなかろうかなという思いがするわけでございますが、その辺町長は去年は参加されておられません、そういったことも考えていくべきだというふうに感謝を込めてこちらのほうにお呼びするというのもどうかと思いますが、その辺町長、どういったお考えでしょうか。

### ○田島健一町長

井崎議員のおっしゃるとおりでございます。私たちは嘉瀬川ダム水没者等々の皆さんのおかげでこちらがよくなっていると感謝を申し上げるところでございますけれども、やはりこちらから向こうに行くばかりじゃなくて、向こうからも来ていただく。私もことしになってからイベントには1回行ったわけでございますけれども、その地区の人たちじゃなくて湖水を見ていただくというお客さんも参加して向こうでやったということでございまして、こちらに来ていただくというのは地権者の方もさることながらこちらを農地、農産物を見てもらうという違った意味でのお客さんも呼び寄せることができるかなというふうに思います。そういうことから、やっぱり向こうばかりじゃなくてこっちでもやるのはいろんな面で有効かなというふうに思います。ことしも開催するようにはいたしておりますけれども、これも町がずっと負担をしてやっていいのだろうかというのもちょっとあるところでございまして、今後はその地元の人たちのまとまりといたしますか、向こうもNPO、例えば有明海のぐるりんネットとか、いろんな会でもって今からやっていくよというような話もございます。私も余り行政だけじゃなくて地域の人たちのまとまりでもってそういうイベントが永続化していけばいいなというふうに思っているところでございまして、いろんな面での検討を今後させていただきたいというふうに思います。

以上です。

### ○井崎好信議員

いよいよ白石町の特産物のPRを含めてよろしく御検討をお願いしたいと思いません。

もう一点だけ済みません、お尋ねいたしたいと思いません。

予算の説明資料の下のほうの57ページでございます。基幹水利施設ストックマネジメント事業費でございますが、白石町にはポンプ場がポンプが60基設置されているというふうに伺っております。今回、有明1号、2号、3号の整備補修ということで1号が平成元年、2号が昭和58年、3号が昭和61年と大分老朽化もしているわけでございますが、いろいろとこういった保守点検、保守整備することによって長寿命化というふうなことでの整備というふうなことだろうと思いません。まさしくやっぱりこういうことしも8月の大雨が2回来たわけですが、あの全体で600時間以上の稼働がなされたという一般質問でも報告がございましたようにすぐやはりそういう稼働ができるようなこういった整備が必要になるわけでございまして、60基町内ある中でこういった整備を順次されていると思いませんが、どういった年次計画といたしますか、されているのか、その辺を説明お願いいたします。

### ○大串靖弘農村整備専門監

大体5カ年計画でするわけでございますけども、今回八平第1、第2、六府方、八平第1、第2と六府方排水機場の分の実施計画業務を発注して25年度から29年度までということで実施するわけです。基幹水利の有明1、2号、3号については23年から27年度までという計画でございますけども、今こちらのほうに詳細の事業のメモを持っておりませんので、後ほど報告させていただきます。

### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑ないようでございますので、次に100ページから104ページまで質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑ないようでございますので、105ページから109ページまで質疑ありませんか。

### ○秀島和善議員

3点、お尋ねします。

まず第1点に、ページ数105ページです。1節報酬、町有林巡視員の報酬が43万2,000円ということで書いてありますけれども、現在の巡視員の人数、どういう体制で巡視をされているのかということをお尋ねしたいと思います。

2点目に、ページ数、109ページですけれども、説明資料の51、52で見ていただけますか。説明資料の51ページと52ページ。説明資料の51ページ、しろいしブランド確立対策事業ということで413万7,000円計上されております。ここで尋ねたい点はキャラクターを使ったり、また東京での宣伝、町長がトップセールスで活躍をされているニュースも報道されておりましたけれども、この事業の費用対効果はどういうものになっているのでしょうか。この事業によってどのくらいの費用対効果が生まれているのかという点をお尋ねします。

3点目です。次のページの52ページ、まちの元気づくりプロジェクト支援事業です。元気のたまご、地域の中で活躍しておりましたけれども、ここに事業内容として商店街内の店舗の案内、商店街内の買い物の代行、子供の一時預かり、いこカー利用支援等々書いてありますけれども、具体的にそれぞれの事業の内容がどのくらいの活動内容があったのか、把握されていたら紹介をしてください。

以上です。

### ○嶋江政喜農村整備課長

町有林管理費の報酬で町有林巡視員の報酬ですけど、これにつきましては24年度一応3人ということで有明地区から1人、白石地区から2人ということで一応町有林の面積に応じてちょっと当然白石町のほうが元白石地域が広いものですから2人、それと有明地域が1人ということで、内容につきましては月に2回巡視をするようにして、

一応日誌等も出してもらっています。  
以上です。

### ○赤坂隆義産業課長

説明資料の51ページ、しろいしブランド確立対策事業で413万7,000円、ここでみのりちゃんの費用対効果ということでありましたけど、一般質問のときも答弁しましたけど数値的にはこのグッズの売り上げということで132万7,000円だけ上がっておりますけど、みのりちゃんのPR効果というのも数字等ではあらわし得ない相当な効果があるのかと思います。例えば農協といいましょうか、農協のタマネギの出荷の容器についてもみのりちゃんのマークをつけておりますし、そういったものが数値的に出ないもんでちょっと何かとは言えませんが、相当な効果があったというふうに考えております。

続きまして、説明資料の52ページのまちの元気づくりプロジェクトの中で事業内容の商店街の店舗案内、買い物代行、子供の一時預かり、いこカー利用支援、商店街組織化推進、まちの元気づくりイベント企画運営ということで、具体的にどのくらいの実績があったのかということですが、実績の数についてはちょっと資料を持ち合わせておりませんが、これにつきましては賃金や集客イベントに開催する経費ということで使わせていただいております。後もってわかれば報告したいと思います。

### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

### ○内野さよ子議員

秀島議員と関連ですが、説明資料の51ページ、しろいしブランド確立対策事業の中のグッズの件でお尋ねをします。私が聞けばよかったですけれども、グッズの売上金が132万7,000円ということになっています。これはTシャツとかいろんなものだと思いますが、すてきなデザインで販売をされています。そのデザインとか加工はどういうふうに行われているのかということが1点と、それからけさ新聞では佐賀新聞ではくまモンが観光庁賞をいただいたということで記事が載っていました。ああいうふうにくまモン程度に、くまモンぐらいになればいいですけど、みのりちゃんのTシャツについても132万円ですから、もっとたくさんの量を作成してもいいんじゃないかなと思います。去年も運動会のときに着たり、私もいろんなところで着ますが、それ何ねという人もまだまだたくさんおられます。それで、枚数的にももっと加工はできないものなのかいつも思っていますので、その点についてできないならできない、もっとできるだろうというところがあればお願いします。

### ○赤坂隆義産業課長

みのりちゃんのグッズについてのお尋ねですけど、デザインについては一応うちのほうでこれをお願いしますという形で行っております。加工については業者さんのほうに委託をして行っているところがございます。枚数をもっとふやせばということな

んですけど、これについてはこのブランド確立対策事業の中で作成をいたしておりますので、売れなかったらどうするのかという部分もありますけど、その辺は今後検討したいと思います。直売所あたりで販売をお願いしているところがございますけど、もうほとんどがもう原価ぐらいで卸しておりますので、今後枚数については考えたいと思います。

以上です。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

#### ○西山清則議員

106ページの負担金ですけども、佐賀県クルマエビ栽培漁業推進協議会負担金が8万7,475円ありますけども、私認識不足かもわかりませんが、クルマエビといたらあのブラックタイガーのようなあんな大きいやつかなと思って考えていますけれども、有明海でそういったクルマエビなんかもとれるのかなと思いながら、負担金だけ納めているのか、こっちで何か養殖か何かされているところがあればお聞きしたいと思いますけど。

#### ○嶋江政喜農村整備課長

佐賀県クルマエビ栽培漁業推進協議会の負担金ということで8万7,475円ということで支出がっております。これにつきましては有明海地域の沿岸の4県、長崎、佐賀県、福岡県、熊本県ということで4県で総数量が協議会のほうで決められまして、そのうち佐賀県が幾らと。それをまた関係市町、要するに有明海沿岸の市町で割り当てがあります。それで一応クルマエビは放流はいたしますけど、それがどっかに行くわけですたいね、最終的には。だから、その放流は4県でしますけど、その放流したエビが地元にいるというのは限らないわけですよ。結局一応追跡調査をしておりますけど、実際が一番多いのは熊本県のほうが一番やっぱりどうしても熊本、天草方面に流れていっているようです。だから、負担金についてもそこら辺は大体考慮をされて一応負担割合は決められているようです。

以上です。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

#### ○井崎好信議員

説明資料の54ページ、白石町情報発信事業でございます。この事業は短期というようなことで10カ月程度、これは県費を活用した事業でございます。10カ月というのは短期でこういった町内をラジオでPRするというようなことでございます。

#### ○白武 悟議長

井崎好信議員、次の110ページまでのところ、109ページまででございます。（「そうですか、はい」と呼ぶ者あり）決算資料は110ページでしょう。（「失礼しました」と呼ぶ者あり）そこで次のところでお願いしたいと思います。

ほかにありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑ないようでございますので、110ページから114ページまで質疑ありませんか。

### ○井崎好信議員

再度お願いします。

説明資料の54ページ、白石町情報発信事業でございます。1,837万8,000円ということで、これは県費を活用した事業だったわけでございますが、10カ月というようなことでこれはNBCのラジオ放送でPRの白石町を広くPRをされた事業でございます。この事業によって効果といいますか、福岡県まで発信をしたというようなことで町外から来町といいますか、産業課でも電話でもいただいて物産所とか、あるいは観光地とか、そういうところに町外からでも来町されたのか、お見えになったのかですね。その辺をお伺いしたいというふうに思います。

### ○赤坂隆義産業課長

白石町情報発信事業についてのお尋ねでございます。

この事業につきましては23年から24年というふうには実施しております。23年は佐賀圏域のみの放送エリアでしたけど、24年につきましてはエリアを福岡まで延ばして、県内につきましては日曜日の10時から30分番組と、また福岡につきましては毎週水曜日の5時20分から10分ばかりということで放送を依頼しております。期間については1年ですね。5月から3月ということでございます。

効果ということでございますけど、これについてもちょっと目に見えた効果というのはありませんけど、この放送を聞いて直売所に来られたとか、そういうふうなものはあったかというふうに思っております。

以上です。

### ○井崎好信議員

そういう効果はあったというふうなことでございますが、現在はこういったPR、ラジオを使つてのPR事業をなされておられませんので、私はこういった事業というのはこういった県が金をやったからするというようなことじゃなくて、やはり町単独でももう継続してこういったこういう雇用が6人ですか、これはもちろん緊急雇用対策も含めたところでございましたでしょうが、やはり継続してこういう、やはりラジオというのはほとんどのテレビよりもラジオのほうが発信力が私はあるかと思ひます。やはり継続することによってこの白石町ももっともっと周りから町外からでもお見えになってくると。そして、また白石町の特産物もまたPR、そしてまた販売もできていくと思ひますので、継続してほしいなと思ひます。新規雇用といいますか、雇用じゃなくて私は職員さんもそういういろいろキャラクターをお持ちの方もいらっしゃる

かと思えます。産業課にもいらっしゃいませんか。職員さんでもNBCのスタジオのほうにでも行っていただいて、週1回でもどのくらい経費かかるかわかりませんが、継続、1週間に1遍でも白石町の情報を発信をすることが今後の白石町の発展にもつながるというふうに思っていますので、そういったことも継続して考えていく必要があるというふうに思いますが、その辺いかがでしょうか。

#### ○赤坂隆義産業課長

この情報を継続して事業として行ったらということなんですけど、一応議員言われたとおりラジオ放送だと仕事しながらとか、そういった面で非常に聞く機会が多いと思います。効果は非常にあると思います。これにつきましてもどうしてもラジオ放送局との委託という形になろうかと思えますけど、出場はこちらの職員が出るにしても委託の形になると思えますけど、費用対効果もありますけど、今後検討はしたいと思えます。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようでございますので、暫時休憩いたします。

10時39分 休憩

10時55分 再開

#### ○白武 悟議長

会議を再開します。

#### ○大串靖弘農村整備専門監

井崎議員さんの先ほどの御質問でございますけども、県営基幹水利ストックマネジメント事業の年度別の事業でございますけれども、1、2、3号につきましての説明からまずさせていただきます。

平成23年度は有明2号排水機場の主ポンプとディーゼル機械のオーバーホールです。が23年度。24年度につきましては、有明1号の主ポンプとディーゼル機械のオーバーホール、有明3号も同じ年に主ポンプとディーゼル機械のオーバーホールです。それと、24年度につきましては、補機類、真空ポンプ、空気圧縮機、冷却装置、排管弁類のオーバーホール、有明2号の部品交換を行っております。それと、同じ24年度でございますけども、有明3号の真空ポンプオーバーホール、それから冷却装置のオーバーホールです。それと、同じ24年度ですけども、電気設備の更新、有明2号排水機場の電気設備の更新を行っております。同じく24年度ですけども、有明1号と2号の除じん機の部品交換等を行っております。平成25年度、ことしの予定でございますけれども、有明1号排水機場の空気圧縮機のオーバーホール、それから排管弁類のオーバーホール、それから屋内操作盤の交換、それからゲート設備のオーバーホール等です。それから、機側操作盤の部品交換です。それから、建屋の修理となっております。有明2号につきましてはゲート設備のオーバーホール、それから機側操作盤のオーバー

ホール、部品交換ですね。それと、2号排水機場も同じく屋家外壁等の修理です。有明3号につきましては25年度は空気圧縮機のオーバーホール、それから排管弁類のオーバーホール交換ですね。それから、電気設備の交換、それからゲート設備のオーバーホール交換、それから除じん機、機側操作盤の部品交換と塗装関係です。来年度につきましては、平成26年度でございますけども、除じん機設備の塗装関係を1、2、3号とも行います。それから、屋家につきましては有明3号の分でございます。

以上、5年度計画でございましたけれども、補正予算とか大型補正とかそういうふうなもので一応4年、26年度で前倒しして終わるようにしております。

それから、今度計画をいたしております八平第1と八平第2、それから六府方でございますけれども、今年度八平第1につきましては電気設備の交換を予定しております。それから、八平第2につきましては同じく電気設備の交換、それから26年度につきましては八平第1のポンプのオーバーホールを計画、それから八平第2も同じくオーバーホールです。それから、六府方排水機場につきましては発電設備のオーバーホールとか部品交換に入ります。

平成27年度でございます。平成27年度は八平第1の除じん機設備のオーバーホール交換ですね、塗装。それから、同じく八平第2につきましても除じん機設備のオーバーホール、部品交換、塗装です。それから、六府方排水機場につきましてはポンプ設備のオーバーホールでございます。

それから、平成28年度でございます。28年度につきましては八平第1がゲート設備のオーバーホール、それから八平第2につきましては同じくゲート設備ですね。のオーバーホール交換です。それから、六府方排水機場につきましては除じん機設備のオーバーホール塗装ですね。それから、ゲート設備のオーバーホール部品交換等に入ります。最終年度の平成28年度でございますけども、八平第1、第2、六府方排水機場の建物の修理ということになっております。これはあくまでも計画でございます。

以上です。

それから、先ほど秀島議員さんの説明の補足説明をさせていただきます。地盤沈下対策事業でございますけれども、事業をしました水路につきましては内容だけはわかっておりますので御説明させていただきます。

水路整備工といたしまして、繰り越しでございますけど16号用排水路の送水ポンプの設置、それから26号水路の送水ポンプの設置、それから21号用排水路の送水ポンプ設置ですね。それから、深井戸切りかえということで、代行干拓の代行分と園芸団地の分の加圧ポンプとか管の補修をしております。

それから、水路整備工といたしまして13号地沈水路の法面復旧330メートル、70の1号用排水路の法面しゅんせつが700メートル、それから1号用排水路、これはもう武雄市になりますけども北方のほうでございますけども、旧管の撤去ということで327メートル、それから梅ノ木の管の布設が324メートル、同じく梅ノ木の用水路の管が2カ所で行われておりまして、あと1カ所が271メートル、それから水路整備工といたしまして53の1号用水路の制水門漏水箇所1カ所、それから62号用水路の法面しゅんせつが900メートルということでございます。それから、新明排水機場の場内整備工が行われております。それから、32の1号水路の管布設でございます。

大体、以上が事業となっております。

#### ○赤坂隆義産業課長

先ほど秀島議員の質問の折にちょっと保留していた件で報告をしたいと思います。

説明資料の52ページですけど、まちの元気づくりプロジェクト支援事業の中で事業の内容の実績、実績ということで報告したいと思います。

一応店舗の情報、店舗案内ということで4月から3月までの1年統計ですけど59件、イベント情報お尋ね、参加ということで1,659件、施設利用が186件、子供預かりが334、図書利用が59、その他が495となっております。1年を通して利用者数が2,745名ということでございます。

以上です。

#### ○白武 悟議長

それでは、115ページから120ページまで質疑ありませんか。

#### ○久原房義議員

まず、115ページですけども、この中で河川総務費の中の排水調整管理者手当の30万円、それと下のほうになります排水機場操作管理委託料の447万7,000円、それでその下の樋管等操作委託料646万6,012円ということで、この3点についてお尋ねですけども、まずこの管理者手当の30万円というのはどういった方で何名分であるのかということと、この排水機場の管理委託料、もうこれも何名さんで何カ所なのか、それで樋管についても同様に何カ所あって何名さんの委託料なのか。特に悪水排水については管理をさせていただいておる方々には非常に御苦勞をいただいております。ただあちこちになかなかスムーズに悪水排水ができていない箇所もあってございます。末端の排水機場なり樋管の管理者の方と上流部のいわゆる管理の方との連携といいますか、意思疎通がうまくいかないで下流部はもう排水が完全にできとるけども、上流部は水がもうあつぷあつぷしとるといような箇所等も中にはあるようです。こういった面のその管理者に対しての町としての指導監督ですね。が本当に十分にされておるのかなということを感じる時に甚だ疑問を感じる箇所がね。全てではございません。そういった部分的にそういった箇所があるようでございますから、そういった面での指導監督をどのようにされておるのかということでお尋ねしたいと思います。

#### ○小川豊年土木管理課長

まず、1点目の排水調整管理者手当ということで30万円でございます。

この分につきましては町内にあります井堰の操作員さんに対して支払っているものでございます。ただ、農地・水・環境保全対策事業で取り組んでおられる地域については支給していないと。それ以外の地区の井堰の操作員さんに対して支給をいたしております。その人数についてはちょっと今のところ特にわかりませんので、後ほどお知らせします。

それと、排水機場操作管理委託料447万7,000円でございますけれども、これは町内にあります河川の末端にあります排水機場、8カ所分でございます。8カ所分の排水機場の操作管理委託として447万7,000円でございます。

それと、その下の樋管等操作委託料でございますけれども、これについては町内16カ所の樋管の操作について委託料を支払うものでございます。

それと、大雨時の上流下流の調整ということでございます。一応大雨のときには町内を巡視しまして上がってないところがありましたら町のほうからも指導をいたしております。また、今後の改善の方法といたしまして、町内ある程度つかるところがもう決まっておりますので、その地区の関係者方に集まっていただいて町のほうで音頭をとって集まってもらってその中で検討をしてもらうというようなことも考えておりますので、今後進めていきたいと思っております。

### ○久原房義議員

ちょうど8月の末ごろ非常に集中豪雨があったわけですが、そういった箇所がございましたので町の担当の方に来ていただいて現場を見ていただいたわけですが、もう下流部はもう完全に排水ができておるわけですね。そこの井堰がもう閉めっ放しでなかなか上流部の水を受けていただけんもんですから、上流部は水があっぷあっぷしとると。これはもう通常悪水排水路をその整備用の悪水排水路じゃなくて小水路に迂回させて何とか排水をされておりますけれども、この地沈と普通の水路と2本の水路の分をこの小水路を伝って排水されておるところがございまして、小水路を伝っていくもんですから、もう法がどンドンどンドン崩れてもう非常に危険な状態になっておりますけれども、そういうことでなかなか末端の樋管の管理者と上流部の井堰の管理者の方がこれはもう昔からのいろんな因縁があるようですけれどもなかなかうまくいかないという箇所がございまして、恐らく町で示してある排水計画ですね。末端の樋管の何々の樋管はこれこここの面積の分を排水しますというような一つの体系なり計画があらうと思っておりますから、それを十分に認識しておられない向きもあるわけですね。この樋管の管理者あるいはポンプの操作管理者が、いや、おいはこれだけでよかと思うとったとですね。まさか上流部の水まで受けるものじゃないというふうに認識違いをされておる向きもあるわけですね。そういうことで、うまく施設を有効にうまく使えばいろんな水害等も発生しませんけれども、そこら辺でうまく連携がとれない箇所が恐らく町内にもほかにもいろいろあらうかと思っておりますが、そういった箇所等については土木管理課を中心にしてその地域のいろんな役職の方集まっていただいて、相互理解を十分するということからやっぱり始めていかないというとなかなかこの問題は解決しないんじゃないかなというふうに思っておりますので、これ決算でございますけれども、そういったただ問題点がある箇所については今後改善をしていただくようにひとつお願いしときたいというふうに思います。

何ページまでやったかい。119ページもよかですかね。

### ○白武 悟議長

120ページ、120ページまで。

### ○久原房義議員

それじゃあと、説明資料の69ページ、決算書では119ですか。これは町営住宅の建設事業で一応立派にでき上がったかなというふうに思っておったわけですが、最近聞いた話ですけれども入居をされた中であちこちにふぐあいが発見されたということを実は聞いておりますけれども、どういった箇所がどのようなふぐあいがあったのかです。ある方は押し入れにいろいろ物を入れる中でくぎが出ておったと。それに手をひっかけて手をけがされたとか、そういった問題も発生しておるそうでございます。まず、事実だろうと思います。ですから、そういった面での最終的な検査等が十分になされたのかどうかということをおっしゃったわけですが、どういったふぐあいがあったのかです。いろいろそういった情報を入居者の方からお聞きをしておりますので、どういったことで解決をされたのか、お尋ねしたいと思います。

### ○小川豊年土木管理課長

下区中央住宅の件でございます。

一応ふぐあいがあった箇所、私報告を受けておる分につきましては玄関の鍵がかからなくなったところがあると。それと、議員さんおっしゃいましたように押し入れのところにくぎが長過ぎてちょっと出ていたということ。それと、建物周りの真砂土で埋め戻し、盛り土してありますけれども、その真砂土が陥没したというようなことを今のところ報告を受けまして、それを受けて町といたしましてはすぐ業者のほうに手配をして対策をとらせてところでございます。

### ○久原房義議員

入居者の方から私も聞いた話でしたけれども、こういったふぐあいが発生して、そして改善は改善でこれはもうしなきゃいかんわけですが、我々議会に対してのこういったふぐあいがあったと、どういうことで措置をしたということの報告程度は当然あるべきじゃないかなと。何も聞かんと本当にただ立派にできたなということだけしか思っらんわけですね。でも、入居者の方から直接そういうお話を聞いて、ありゃそりゃいかんやったなということをおっしゃったもので、我々議会にも当然そういったことについては報告をするべきだと思っておりますけれども、副町長いかがですか。

### ○杉原 忍副町長

議会へ報告するべき案件につきましては必要性を鑑みて報告をしてまいりたいというふうに思っております。

以上です。

### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

### ○小川豊年土木管理課長

先ほど井堰操作員の人数を申し上げておりませんでしたけれども、井堰操作員は有明が6地区6人です。白石が41人、福富については農地・水で対応されておりますのでゼロということです。

#### ○秀島和善議員

私は説明資料の68ページ、住宅リフォーム緊急助成事業についてお尋ねをいたします。大変好評な事業でした。まず、事業実績の19として負担金補助及び交付金のところで助成対象件数が327件とありますけれども、早朝から窓口に並んだということも聞き及んでおりますけれども、実際にそういう方たちまで含めると、この希望者は何名ほどいたのかということをお尋ねしたいと思います。あわせて、うち町内業者施工件数が210件ということで、これに類した業者がこの事業に相当あったと考えられます。その上での費用対効果はどの程度あったのでしょうか。

#### ○小川豊年土木管理課長

平成24年度の実績は327件ということでございます。これ実績でございまして、申請件数は329件ございました。済みません。申請件数についてはちょっと今把握しておりませんので、後もって御報告いたします。

それと、事業の効果でございまして、210件が町内業者ということでございました。この工事費契約額でございまして、全体で5億4,840万円というような額が出ております。この5億4,000万円についてが町内の大工さん、あるいは設備屋さんのほうと契約されたということでございます。

#### ○秀島和善議員

住宅リフォーム緊急助成事業について関連してですけれども、町長にお尋ねしますが、この事業が3年間ということで県の基金をもとに実施されて、今年度で終了いたしますけれども、大変好評であり、今後ますますリフォーム、また住宅の改築、また環境汚染水などについての改築なども計画がされているかと思っておりますけれども、町単独でもこの事業を開始するという考えはございませんか。

#### ○田島健一町長

住宅リフォームの緊急助成事業というものが平成24年度にはあったわけですが、事業そのもの、これにつきましては全て県費で補助をいただいたわけですが、町からの負担はなかったわけですが、今議員御指摘の町として単独でもということでございますけれども、これについてはまだまだ国、県がこれまでやられたものをちょっと検証をしながらやっていかんやろうというふうに思います。早急にここで私24年度の実績がよかったでしようということですが、さまたち26年度からというようなことはちょっと中身で検討させていただいてからということにさせていただきます。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

#### ○内野さよ子議員

説明資料の67ページですけれども、決算書では115ページの橋梁長寿命化計画策定業務というのがあります。今、古いものを復旧したりいろんな事業が行われているわけですけれども、これについては去年から行われていて、事業の効果のところに修繕計画が検討できたというふうに書いてあります。進捗状況がどんなふうで今まとめ集計もできているのではないかなと思います、どのような状況なのか、お答えください。

#### ○小川豊年土木管理課長

事業効果のほうに修繕計画が検討できたとありますけれども、平成24年度におきまして橋梁長寿命化計画策定業務を完了をいたしております。本年度平成25年度からそれに基づきまして修繕事業に取りかかるというようなことを計画しております。まず本年度は町内にあります5つの橋の実施設計を業務委託とすることにしております。来年度からはその本年度設計したものの工事に取りかかるというようなことで、これを毎年ずっと繰り返しながらやっていきたいというふうに考えております。

#### ○内野さよ子議員

町内で5橋ということでしたけれども、橋の大きさとかいろんなものを見ながら考慮しながら計画だと思いますが、例があれば2つ、3つお願いします。どこでどんなところというものがありましたら。

#### ○小川豊年土木管理課長

ことしの5橋につきましては予算のときにも説明をさせていただいていると思えますけれども、重要な部分、基礎にクラックが入ってひび割れが入っているとかですね。とにかくその重要な部分に修繕が必要なところということで、そういったところをまず初めに取りかかるというふうにしております。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑がないようでございますので、ページ、150ページから151ページ及び211ページから216ページまでの産業建設部門について質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑を終了します。

議案第51号「平成24年度白石町農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について」質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認め、質疑を終了します。

議案第52号「平成24年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計歳入歳出決算の認

定について」質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認め、質疑を終了します。

議案第53号「平成24年度白石町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について」質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認め、質疑を終了します。

議案第62号「白石町農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例について」質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認め、質疑を終了します。

議案第63号「白石町特定環境保全公共下水道条例の一部を改正する条例について」質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認め、質疑を終了します。

議案第64号「白石町特定環境保全公共下水道事業受益者負担金徴収条例の一部を改正する条例について」質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

質疑なしと認め、質疑を終了します。

議案第65号「平成25年度白石町一般会計補正予算（第3号）」の1ページから13ページまでの産業部門について質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

次に、26ページから34ページまで、質疑ありませんか。

### ○久原房義議員

34ページですね。住宅建設費の今回ここに町営住宅建設工事費600万円ということで上がっておりますけども、これは解体費用等については当初予算でも出ておったかと思っておりますけども、この600万円という住宅跡地の整備費用だということでございまして、解体費に私は含まれておったというふうに理解をしておったわけですが、どういったことでのこの整備費用が必要になったのか、お尋ねしたいと思います。

### ○小川豊年土木管理課長

今回町営住宅建設工事費ということで600万円の補正をお願いいたしております。これにつきましては、本年度当初予算のほうで1,100万円の予算をいただいておりますけれども、当初積算するに当たりましては昨年度、前年度に解体いたしました馬洗団地の木造の団地でありますけれども、その解体をもとに積算をしておりました。今回下区中央住宅の建設に伴いまして、住ノ江、栄町住宅、それと住ノ江、寿町住宅の団地の分を跡地を解体、整理整地して地権者の方にお返しするという事になっておりました。その地権者と交渉の中で解体した後に盛り土ですね。盛り土と、あと外周の構造物、こういったものが当初予算では計上しておりませんでしたので、今回そ

の盛り土の部分と外周の構造物関係を補正をお願いしているところでございます。

**○久原房義議員**

この盛り土、盛り土分をどうするんですかね。この盛り土分を撤去するんですかね、どうするんですかね。ちょっと詳しく。

**○小川豊年土木管理課長**

解体、整地をした後に新規土で盛り土して町道なみの高さに合わせるということでございます。

**○白武 悟議長**

ほかに質疑ありませんか。

**○岩永英毅議員**

33ページの排水ポンプ工事費の550万円、558万円か、これ場所はどこやったですか。

**○小川豊年土木管理課長**

大字福吉地区にあります潟越樋管というところでございます。（「もう一回」と呼ぶ者あり）大字福吉地区にあります潟越……（「潟越」と呼ぶ者あり）干潟の潟に乗り越えるの潟越でございます。

**○白武 悟議長**

ほかに質疑ありませんか。

**○溝上良夫議員**

28ページ、一番上のほうですね。6次産業活性化委員報償費、これ一番最初の立ち上げの段階でしょうけども、今後話が進むときに国の予算が大分あると思います。私が調べたところによりますと76億1,500万円ぐらいの6次産業に関連した交付金あたりがあると思いますけども、そこら辺の調べはなされているのでしょうか、お伺いをいたします。

それと、小さいことですが、29ページ、農業基盤整備促進事業ですね。農道の整備、あとどれぐらいの未舗装な箇所があるのか、その2件をお伺いします。

**○赤坂隆義産業課長**

6次産業化に向けた国の予算で76億円ということをおっしゃいましたが、総合化事業だと思いますけど、内容等についてはちょっと知っておりません。後もって報告したいと思います。

**○嶋江政喜農村整備課長**

農業基盤整備促進事業のこれは舗装になりますけど、今回八平の干拓地内の幹線水

路の沿線ということで約1.6キロを施行するようになっています。しかし、今現在おおよそですけれど、大体未舗装の延長が総延長が約25キロございます。それで、これをどうするかということでちょっと協議をいたしまして、こういうこの補助事業を利用してなるだけその事業を起こして随時年次計画を立ててやっていきたいということで今現在考えております。

以上です。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようですので、40ページから44ページまでの産業建設部門、質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑を終了します。

議案第68号「平成25年度白石町農業集落排水特別会計補正予算(第1号)」について質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認め、質疑を終了します。

議案第69号「平成25年度白石町特定環境保全公共下水道特別会計補正予算(第2号)」について質疑ありませんか。

#### ○岩永英毅議員

ページ数は関係ないですけれども、どれくらいのこの計画に対しての進捗率というか、それはどうなっていますか。

#### ○赤坂和俊下水道課長

説明させていただきます。

特定環境保全公共下水道事業につきましては、第1期事業計画区域を今整備をいたしております。平成20年度から26年度までということで7年間ですね。7年間で整備をいたしております。それで、処理場につきましては、23、24、25年と3カ年で整備しておりますけれども、24年度までには土木建築工事が終わっております。それで、24年9月から機械、電気設備のほうに25年まで継続ですね。行っておりますので、ことしの11月までには処理場については全て完了する見込みであります。そこで、総合試運転も11月に行いたいと思っておりますので、12月2日からだったですね。2日月曜日になりますけれども供用開始ということで公告等も行い、地元の方に関係者の方にもそういう通知を差し上げたいと思っております。管路につきましては、24年度までに整備率ですけれども65%ほどとなっております。

以上でございます。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

### ○溝上良夫議員

1期工事のことはわかりました。2期工事のことでお伺いをいたします。2期工事の申請、かれこれ許可、いつぐらいになるのか、見通しが立っているのか、そこら辺をお伺いします。

### ○赤坂和俊下水道課長

2期工事のことなんですけれども、1期工事が25年度終わりますと大体約80%ほど管路も整備ができると思います。そこで第2期のことについて準備等も入っていかにかいかんと思っております。そこで、財政課とも調整をしながら今後の計画を十分協議しながら進めていきたいと思っております。ですから、26年度からはそういう準備に入っていくということになると思います。

以上です。

### ○溝上良夫議員

スムーズに許可はおきそうですか。何か難しそうという話もちらほら聞くんですが、今後の工事に関して、2期工事に関して。全然まだ手つかずでしょうけども、雰囲気的なところもわからないですか。スムーズに許可おきるみたいですか。

### ○赤坂和俊下水道課長

法的な手続のことなんでしょうか。法的、認可制度ですよね。以前認可制度と申しましたけども、地方分権の一括法によって県のほうには協議という形になっておりますけども、書類的にはもう認可申請と同じようなこと、内容的には一緒だと思っております。そこについては問題ないと思っております。ですから、今後やはり自治体、事業主体が責任持ってやるんだという、そういうことをきちんと説明しないといかんということは思っております。ですから、今いろんな人口とか社会情勢等も変化もありますので、その辺を踏まえてやってくださいというのがまず国と県とのそういう意見だと思っておりますので、それに沿った形で進めていきたいと思っております。

### ○溝上良夫議員

今後、無理してやっていくことも大事かもしれませんが、財政面いろいろ考えると考え直すこともあるかと思えます。慎重にこれから進めていかなくちやいけないと思えますけども、そこら辺町長考えどうでしょうか。

### ○田島健一町長

白石町の下水道計画につきましては既に公共下水道でやる分とか、もう既に行いました農集でやる分、やった分ですね。あとは合併浄化槽でやる分、計画を立てているところをごさいまして、それに向かってやっていきたいというふうに思います。そういうことで、特環、もう公共下水道ですね。特定環境保全公共下水道というエリアについてももう住民さんにもお示しをとりましますから、これを合併浄化槽に今度変

えるよというのはちょっとどうかなというふうに思います。今、策定した分についてはこのままにさせていただきたいというふうに思っているところがございます。見直し等々がやっぱり人口等々で必要とあればその一部見直しというともあるでしょうけども、基本的な考え方としては今のままでやっていきたいなというふうに思っているところがございます。

以上です。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

#### ○岩永英毅議員

今のに関連してですけれども、認可といいますか、それがおりてるから変えられんだろうと、住民説明もしてるから変えられんだろうということですが、費用対効果を見てみれば深浦の百貫橋まで通すといっても沿線にそんなに住宅もないし、企業あたりもこれからふえるかどうかわかりませんが、やはり中まで入っていかんと住宅関係はつながってありませんし、空き家も多いし、そこら辺考えていくと果たしてもう投資するだけの効果があるのか。本当は公営ですから100%加入でしょうけれども、少なくとも70%以上は加入をせんといかんでしょうから、それだけのメリット、加入率が期待できるのか、相当今合併浄化槽も普及していますし、そこら辺の計画の見直しあたりも少しは必要じゃないかなと。やはり投資額が大変大きいので、そこら辺の住民説明はしているものの住民の方も合併浄化槽それぞれ投資してやっているわけですから、まだそれにつなぎかえというのも一考されるんじゃないかなというふうに思いますので、償却費あたりを考えたらなかなか費用対効果ができないんじゃないかなと。町の持ち出しが余りにも将来に響くんじゃないかなというふうに思いますので、そこら辺は再検討の余地がないのかなと。もう一考すべきじゃないかなというふうに思います。

#### ○白武 悟議長

この問題につきましては非常に大きな問題でございますので、今回につきましては補正予算の質疑でございますので、全体あるいは産業建設部門等で十分協議をすべき問題だというふうに思いますが、御了解いただけますか。（「はい」と呼ぶ者あり）

ほかに質疑ありませんか。

#### ○赤坂隆義産業課長

先ほど溝上議員のときにちょっと保留していました件についてお答えをしたいと思います。

26年度の予算額ですけど、政府の予算要求額の段階ですけど、6次産業化等による農林水産食品の高付加価値等の推進ということで45億100万円が予定されております。政策目標といたしましては6次産業の市場規模の拡大ということで、現在1兆円規模を27年度には3兆円、32年度には10兆円というふうな計画をなされております。その

中で6次化支援対策といたしまして36億5,100万円が予定されております。この中には6次産業化ネットワーク活動交付金と6次産業化の支援体制の構築ということでソフト面、またハード面に重点を置かれた予算措置がなされています。

以上です。

**○白武 悟議長**

ほかに質疑ありませんか。

**○小川豊年土木管理課長**

先ほど一般会計の決算のところ秀島議員のリフォームの申請者の数を後もってということでもしてありましたので報告します。

説明報告書68ページでございますけれども、助成対象件数327件としておりました。平成24年度につきましては全体で337件の申請があって、そのうち10件が辞退をされたということで327件全ての方が対象になったということでございます。

以上です。

**○白武 悟議長**

ほかにありませんか。

**○井崎好信議員**

私の質問も直接この補正には関係ございませんが、ちょっとお聞きしたいと思いますが……。

**○白武 悟議長**

後で全体的な問題につきましては質疑を受けるようにしたいと思います。何かこのこと、水道会計。

**○井崎好信議員**

いや、県の新聞で掲載をされておったわけですが、県のほうでですよ。県内の事業所にトイレの水洗化を推進するということのようなことでそういった事業があるというふうなことでお伺いを、掲載をしてありましたので、その事業の概要がわかれば説明をお願いしたいと思います。

**○片渕克也財政課長**

今回県の補正予算ですか、におかれましてはいわゆる直接ちょっと白石町が一番考えておるところは地区の公民館あたりですね。ああいったところに水洗化をした場合に補助があるというふうなことで、詳しくは存じ上げませんがそういった制度ができております。一応今町のほうでも独自で公民館の施設整備についての補助をいたしておりますが、それとあわせてトイレのもし改修される場合はそちらのほうを活用して、ほかの部分に町の補助を充てるというふうなことも考えてはどうかといったこと

で、今担当課のほう等とでちょっと今打ち合わせをしているところでございます。これが基金で行われるということでございますので、今年度差し当たってどうかというのはちょっと今のところ申請件数もあってないというふうな状況でございます。

以上でございます。

#### ○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑を終了します。

議案第70号「平成25年度白石町水道事業会計補正予算(第2号)」について質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認め、質疑を終了します。

議案第71号「平成25年度白石町特定環境保全公共下水道白石1号幹線管渠布設工事(11工区)請負契約について」質疑ありませんか。

#### ○吉岡英允議員

2点ほど伺います。

契約の方法が条件つき一般競争入札というふうなことになっておりますので、条件のどういう条件だったかという説明と、また入札経過表を見ていますと、3業者の入札応札があったというふうなことになっておりますけれども、入札案内も3業者に案内をされたものか、また入札案内はほかにも何業者か五、六業者かしたんですけれども3業者だけの応札があったか、その辺も説明をお願いいたします。

#### ○赤坂和俊下水道課長

御説明いたします。

主な条件ということで御説明をしたいと思います。

まず、1点目が武雄、佐賀土木事務所管内に本店を有し、土木一式工事の特A級の決定を受けていることということですね。2点目に実績等ですけれども、今回の工事と同種の内容の下水道管推進工事ですね。圧入方式ですけれども、これについて平成15年4月ということは過去10年間元請として竣工した実績を有することということですね。また、元請でなくて共同企業体として実績がある場合については実績2件ですね。2件の実績を有しとってくださいということです。それと3点目に、この先ほど申し上げました工事の経験を有する管理技術者を専任で配置できることということで、主な条件としましてはこの3点でございます。

次に、3業者ということで案内も3業者に案内を出したかということですが、この条件つき一般競争入札につきましてはこれは事後審査型なんですけれども、公告をいたしましてこの概要等を公告いたしまして、下水道課のほうにも設計書等も縦覧できますけれども、それを見ていただきまして、その入札参加届を出していただきます。その参加届を出された方が3業者であったということで、入札の案内も3業者のほう

に案内を出して執行したことになります。  
以上でございます。

○白武 悟議長

ほかに質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

質疑なしと認め、質疑を終了します。

これで産業建設部門の議案質疑を終わります。

全体的に提案されております議案につきまして全体的な質疑ありませんか。

(「なし」と呼ぶ者あり)

ないようでございますので、本日の議事日程は終了いたしました。

お諮りします。

本日で議案質疑は終了いたしましたので、あす9月26日は休会にし、9月27日に討論、採決を行いたいと思いますが、御異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

異議なしと認めます。よって、あすは休会にし、9月27日に討論、採決を行います。本日はこれにて散会いたします。

11時57分 散会

---

上記、会議の経過を記載し、その相違ないことを証するため、地方自治法第123条第2項の規定によりここに署名する。

平成25年9月25日

白石町議会議長 白 武 悟

署 名 議 員 井 崎 好 信

署 名 議 員 大 串 弘 昭

事 務 局 長 鶴 崎 俊 昭